

平成30年度 先進都市視察 報告書

大阪府南部市議会議長会

報告市議会	高石 市議会
報告者	議長 古賀 秀敏 副議長 永山 誠 事務局長 北口 宗彦
視察日時	平成30年7月18日(水) 14:00～15:30 / 15:30～16:15
視察先	鹿児島県 霧島市
概要	<p>議会改革の取組(無線LAN整備・住民参加等)について</p> <p>議場のAV機器の老朽化によるシステム改修に伴い、平成24年9月から議場にタブレット端末を導入している。これはペーパーレス化を目的とするものではなく、タブレットにより採決を行い、議員毎の賛否結果を議場内のモニターに表示し可視化することや、一般質問時に議員からの持ち込み資料をタブレットで表示し資料を共有することにより、分かり易い説明を可能とし議論を深めるために導入したものである。また、タブレットから例規集、議案、陳情等の閲覧が可能となっている。</p> <p>従前、タブレットからの例規集等の閲覧は、本会議場でのみ可能であったが、平成29年11月のタブレットの更新に併せ、全員協議会室、各委員会室、各会派室、応接室及び事務局に無線LANによるネットワークを構築した。これにより委員会の審査等でもタブレットの活用が可能となっている。</p> <p>平成23年4月から「議会報告会」を市内7地区で開催し、毎定例会後、同内容で第6回まで継続したが、第7回からは、より市民に開かれた議会とするため、意見交換を充実させる内容へと転換し、市内で活動されている団体や市民グループとの意見交換会を実施している。また、第9回以降は名称を「議会報告会」から「議員と語ろうかい」に変更し、年4回開催のうち2回は公募による市民団体等との意見交換会として実施している。参加者数が低迷していることに課題があるが、やり続けることにも意義があるとのこと。</p>
	<p>議場見学(タブレット採決等のデモンストレーション)</p> <p>議場において、実際にタブレットを使用し、採決や資料の閲覧等の操作を実習した。</p>
所見	<p>議会改革の取組(無線LAN整備・住民参加等)について</p> <p>先進的にタブレットを導入し、議場における賛否の見える化を図るなど、市民に開かれた議会づくりに尽力されている姿勢は見習うべきものがある。</p> <p>霧島市議会のタブレット導入については、ペーパーレス化を目的とするものではないとの説明であったが、既にペーパーレス化になっている部分もあり、印刷の手間や経費の節減を図るためにも、さらにペーパーレス化を推進することについては意義があるのではないかと感じた。</p> <p>また、議会報告会については、積極的に住民参加を促すという姿勢は理解できるが、より多くの市民に「議会」というものに興味をもってもらうためには、議会報告会の必要性や議会だよりの充実など、こういった手法があるのか、本市も含めさらなる研究が必要であると感じた。</p>
	<p>議場見学(タブレット採決等のデモンストレーション)</p> <p>タブレットによる採決は、時間の短縮や傍聴者にとってもわかりやすいシステムとなっているが、採決の見える化とタブレットは別ものであり、タブレットによる必要性があるのかどうか疑問に感じた。</p>

平成30年度 先進都市視察 報告書

大阪府南部市議会議長会

報告市議会	高石 市議会																		
報告者	議長 古賀 秀敏 副議長 永山 誠 事務局長 北口 宗彦																		
視察日時	平成30年7月19日(木) 10:30~12:00 / 13:30~14:30																		
視察先	宮崎県 都城市																		
概 要	<p>ふるさと納税の取組について</p> <p>平成26年10月から都城のPR戦略を開始。つかみは「日本一の肉と焼酎！」全国放送でのPRや首都圏を中心としたPRを実施</p> <p>その他の取組等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイト（ふるさとチョイス）の活用、クレジット決済の導入、都城産品へのこだわり ・地元事業者への還元策 ・ふるさと納税の振興と対外的PRを行うため、「ふるさと納税振興協議会」（ふるさと納税返礼品提供事業者の代表者全87事業者で構成）を設立し、PR戦略事業、顧客満足度向上事業及び地域貢献事業を展開 ・コールセンターの開設、税務処理等の民間委託 <p>返礼品は、約550品目 返礼割合は、3割（平成29年6月から見直し） 必要経費は、約4割 残りの約3割が市の収入となっている。</p> <p>ふるさと納税受入額の推移 （単位：千円、件）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金額</td> <td style="text-align: right;">9,641</td> <td style="text-align: right;">499,823</td> <td style="text-align: right;">4,231,234</td> <td style="text-align: right;">7,333,161</td> <td style="text-align: right;">7,474,220</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td style="text-align: right;">38</td> <td style="text-align: right;">28,653</td> <td style="text-align: right;">288,338</td> <td style="text-align: right;">528,242</td> <td style="text-align: right;">523,164</td> </tr> </tbody> </table>		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	金額	9,641	499,823	4,231,234	7,333,161	7,474,220	件数	38	28,653	288,338	528,242	523,164
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度													
金額	9,641	499,823	4,231,234	7,333,161	7,474,220														
件数	38	28,653	288,338	528,242	523,164														
施設見学(中心市街地中核施設「Mallmall(まるまる)」)	<p>中心市街地中核施設「Mallmall」（まるまる）に設置された都城市立図書館等を見学</p>																		
所 見	<p>ふるさと納税の取組について</p> <p>都城市は平成27年度・28年度連続でふるさと納税の受入額が全国1位となっている。これは、全国的にも有名な宮崎牛や生産量日本一の焼酎が市内にあったことから、これらを対外的なツールとして活用し、市の戦略としてのシティプロモーションに力を入れてきたことが大きいと考えられる。</p> <p>また、平成28年度は受入件数も全国1位となっているが、これは、シティプロモーションの効果もさることながら、返礼品に資産性の高いものを用意するよりも、手を出しやすい価格帯の品を多くしたことで、多くの方々に都城市を知ってもらえ、件数が増加したものと考えられる。</p> <p>本市とは考え方や条件も違いすぎる感は否めないが、こういった街を知ってもらおうという姿勢は見習うべきところであり、本市も知恵を出し合って取組を強化すべきであると感じた。</p>																		
	施設見学(中心市街地中核施設「Mallmall(まるまる)」)	<p>都城市立図書館は、既存の図書館の感覚とは異なり、斬新なショッピング感覚の心地よい空間であった。特にインデックス（さくいん）コーナーに備えつけられた裏面がスタンプになっているインデックスワードには、文字の下に二次元バーコードがあり、ノートやメモにスタンプし、スマートフォンなどから館内や本の案内ができる仕組みになっているなど、来館者がまた来たくくなるような仕掛けが随所にちりばめられ、発見と想像をささえるすばらしい空間に仕上がっている。</p> <p>本市の図書館をリニューアルする際には、是非ともこういった感覚も取り入れ、心地よい空間を作り上げていきたい。</p>																	